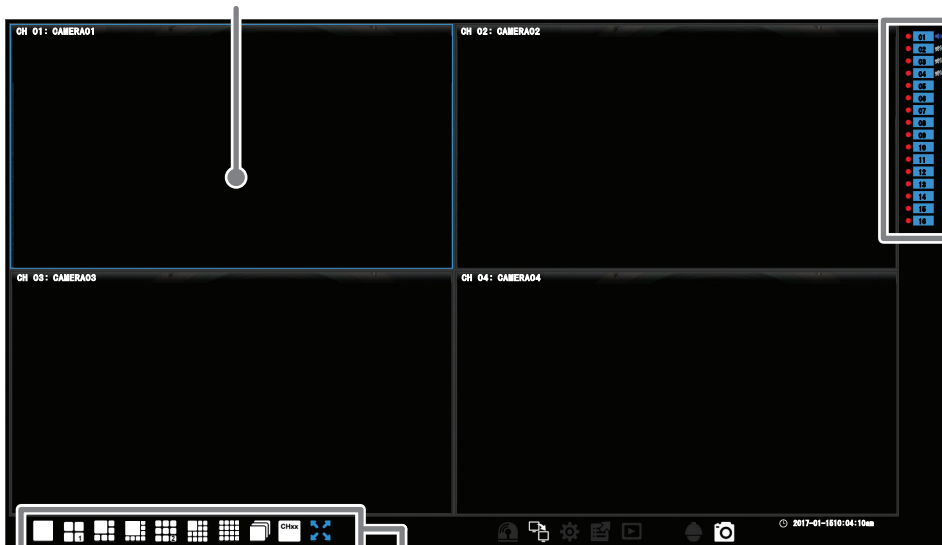


簡単ガイド

- ・本機でのライブ映像や記録映像の見かたなど、基本的な操作方法について説明しています。さらに詳しい操作や設定方法は、ハードディスクレコーダー付属のCD-ROM内「取扱説明書」をご覧ください。
- ・ご使用前に取扱説明書の「安全上のご注意」を必ずお読みいただき、安全にお使いください。

画面の見かた（ライブ、再生モード共通）

画面をダブルクリックすると、単画面／分割画面の切り替えができます。



チャンネルインジケータ



：記録中に赤点灯します。（ライブモードのみ）



：チャンネル番号をクリックすると、青枠で囲まれた部分の表示チャンネルの映像が切り替わります。

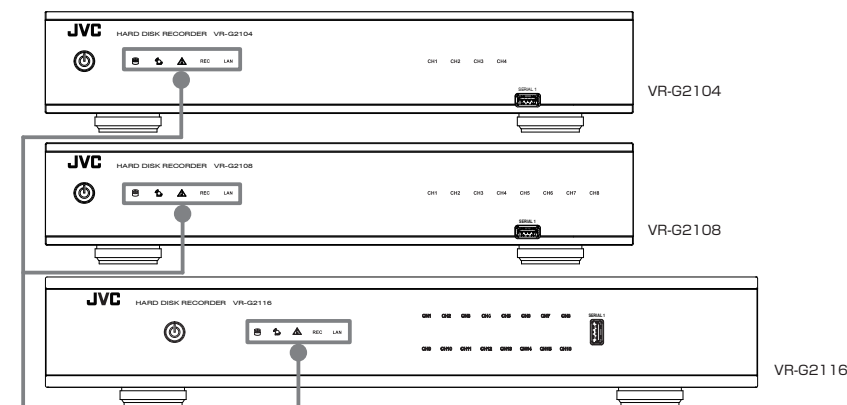


：スピーカーアイコンをクリックすると選択した本体「AUDIO IN」端子に入力された音を聞くことができます。

表示モード

- ：単画面表示モード
- ：PIP（Picture in Picture）表示モード（VR-G2104のみ）
- ：4分割表示モード（VR-G2108は2パターン表示、VR-G2116は4パターン表示）
- ：6分割表示モード（VR-G2108、VR-G2116のみ）
- ：8分割表示モード（VR-G2108、VR-G2116のみ）
- ：9分割表示モード（VR-G2108とVR-G2116のみ、VR-G2116は2パターン表示）
- ：13分割表示モード（VR-G2116のみ）
- ：16分割表示モード（VR-G2116のみ）
- ：自動切り替えモード
単画面を自動的に切り替えます。
- ：OSDの表示／非表示を切り替えます。
- ：全画面表示モードに切り替えます。

フロントパネルのLED表示



：HDDインジケータ。HDDにアクセスしているときに点滅します。

：アラームインジケータ。アラームが検出されたときに点滅します。

：例外インジケータ。ディスクフル、ディスク故障、ディスクなし、ネットワークロス、不正ログイン、ディスク温度上昇、電源損失、IPコンフリクトなどの例外警告が検出されたときに点滅します。

REC：[REC]インジケータ。録画中に点灯します。

LAN：[LAN]インジケータ。LANポートがハブを介してネットワーク機器に接続されている場合に点滅します。

カメラのライブ映像を見る

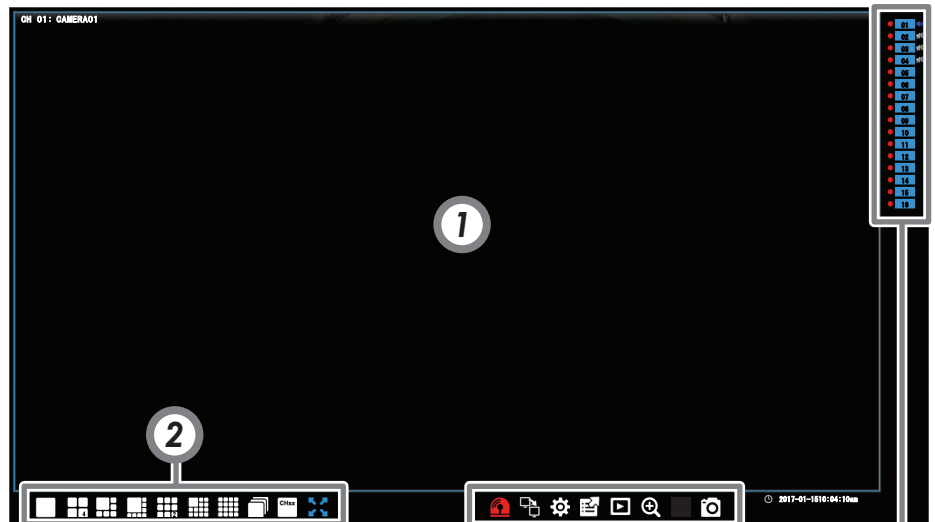
カメラが現在撮影している映像（ライブ映像）を表示します。

1 [ライブ] モードを表示

ライブ映像を表示します。

再生モード表示時は、[ライブ]
ボタンをクリックすると、
ライブモードに切り替わります。

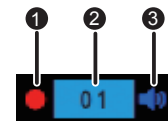
2 表示モードを選択



機能

-  : アラームが検出されたときにクリックしてブザーと連続アラームを停止します。
-  : コールモニター設定ダイヤログを表示します。
-  : 設定メニューを表示します。
-  : エクスポートメニューを表示します。
-  : 再生モードに切り替えます。
-  : 単画面表示モードのとき、クリックしてデジタルズーム機能を有効にします。マウスで右クリックしながらドラッグすると選択範囲を拡大することができます。マウスのホイールで、ズームイン／アウトすることもできます。
-  : USB メモリーにスナップショットを保存します。
-  : ログアウトします。
(「ログイン認証を有効にする」が[オン]の場合に表示されます。)

チャンネルインジケータ



- 録画状態インジケータです。各色は次の状態を示します。
赤 : 録画中
グレー : 録画停止中
- カメラ番号です。各色は次の状態を示します。
青 : 通常状態。カメラ入力の有効になっている
グレー : カメラ入力が無効になっている
緑 : ビデオロスが検出された
オレンジ : モーション検知が検出された
赤 : アラーム検知が検出された
- 音声アイコンです。
目的のチャンネルの音声アイコンをクリックし音声出力のオン／オフを切り替えます。各色は次の状態を示します。同時に複数チャンネルの音声をオンにすることはできません。
青 : 音声出力が有効
グレー : 音声出力が無効

記録された映像を再生する

ハードディスクレコーダーに記録された映像を再生します。

1 [再生] モードを表示

ライブモード表示時は、[再生] ボタンをクリックすると、再生モードに切り替わります。

2 カレンダーの日付をクリック

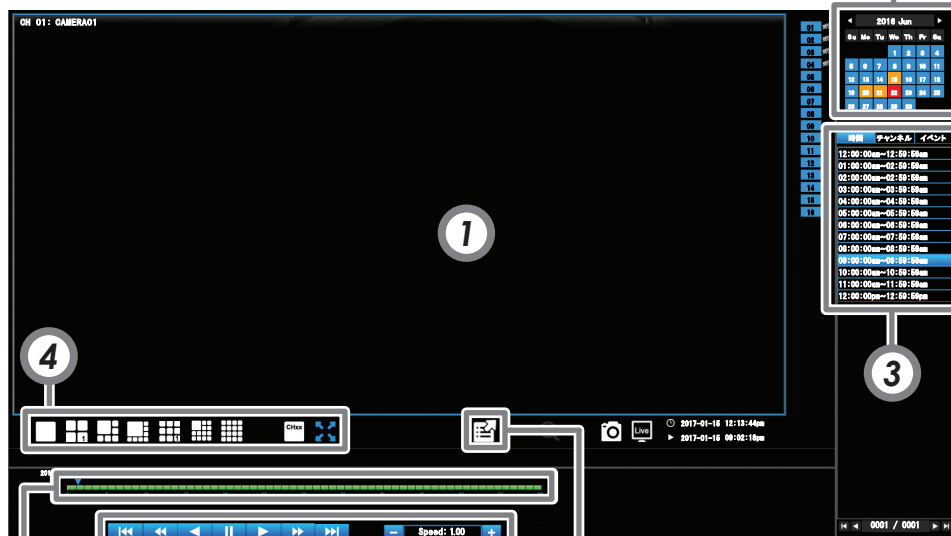
オレンジで表示された日付は記録があることを示します。
下の[時間]タブに記録のある時間帯が表示されます。

3 再生したい時間帯をダブルクリック

4 表示モードを選択

その他の指定方法

日付を指定してから、「チャンネル」、「イベント」をクリックすると、選択したチャンネルやイベントタイプに一致するイベントをリスト表示することができます。



タイムライン

「タイムラインの見かた」をご覧ください。

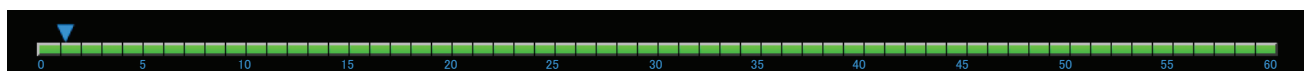
エクスポート

映像をエクスポートします。

速度や時間を変更する

-  : 再生します。
-  : 一時停止します。
-  : 逆再生を開始します。
-  : 次のセクションへ進みます。
-  : 前のセクションへ戻ります。
-  : 早送りします。再生中のみ表示されます。
、で再生速度 (0.25、0.50、1.00、2.00、4.00、8.00) を変更できます。
-  : 早戻しします。再生中のみ表示されます。
、で再生速度 (-1.00、-2.00、-4.00、-8.00) を変更できます。
-  : クリックすることにより次のコマを再生します。
一時停止中のみ表示されます。
-  : クリックすることにより約1秒前の映像を再生します。
一時停止中のみ表示されます。

タイムラインの見かた



タイムラインには、1時間分の記録状態が表示されます。タイムラインの下の数値は分を表します。
緑色のタイムラインは録画データがあることを示します。
タイムラインをクリックすることで任意の時間の映像を再生することができます。

記録された映像を USB メモリーに保存する

映像を USB メモリーに保存するにはエクスポート機能を使用します。

1. USB メモリーを本機のシリアル端子に接続します。
2. ライブモード画面または再生モード画面で[エクスポート]ボタンをクリックします。
3. 開始時間とエクスポート時間を設定します。エクスポート時間は 1 分～ 60 分の間で設定できます。
4. エクスポートするチャンネルにチェックを入れます。
5. [スタート]をクリックします。「パスワード入力」画面が表示されますので、エクスポートするデータにパスワードを設定する場合はパスワードを入力します。パスワードを設定しない場合は空欄のまま [OK] をクリックします。
6. 「エクスポート完了」が表示されたら USB メモリーを抜きます。

※ USB メモリーに保存した映像を PC で再生するには Playback Player が必要です。

Playback Player を USB メモリーに書き込むには、[プレーヤーをエクスポート]をクリックします。



エクスポートファイルのファイル名

エクスポートした期間の情報が自動的に以下のように付けられます。

例) チャンネル2の2017年1月15日9時28分から9時48分の期間をエクスポートした場合

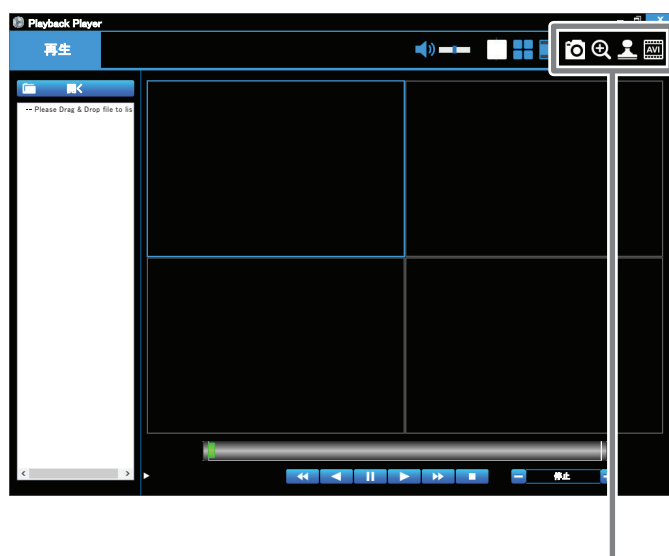
CH02_20170115092800_20170115094800.avs

固定 ch 番号 年 月 日 時 分 秒 年 月 日 時 分 秒 固定
開始時刻 終了時刻

USB メモリーに保存した映像を PC で再生する

1. PC に USB メモリーを接続します。
2. Playback Player.exe を起動します。
3. [開く]をクリックして拡張子が"avs"のファイルを指定するか、ウインドウ内にファイルをドラッグ & ドロップすると、自動的に再生が開始されます。

※ 複数のチャンネルの再生は複数のチャンネルを同時にドラッグ & ドロップします。同一時間帯の映像の場合、複数のチャンネルを同時に再生することができます。



機能

- : 選択した映像のスナップショットを JPEG で保存します。
- : クリックしてデジタルズーム機能を有効にします。マウスで右クリックしながらドラッグすると選択範囲を拡大することができます。
- : 改ざん検出アイコン。改ざんの有無を確認できます。
- : 映像を AVI 形式に変換します。

JVCケンウッド カスタマーサポートセンター

固定電話  0120-2727-87

携帯電話・PHS  0570-010-114

一部のIP電話など 045-450-8950

FAX 045-450-2308

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

ご相談窓口におけるお客様の個人情報、お問合せへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

ホームページ <http://www3.jvckenwood.com/>
株式会社 JVCケンウッド・公共産業システム
〒221-0022
神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12